

## 献辞

藤馬龍太郎先生がめでたく古稀をお迎えになりました。法学部を代表して心からお慶び申し上げますとともに、ここに、そのお祝いとして論文集を献呈させていただきます。

先生は、一九二九年六月一日、大阪市でお生まれになり、同志社大学法学部政治学科、同大学院法学研究科修士課程を経て、一九五三年から一九六八年まで国立国会図書館調査立法考査局にお勤めになりました。一九六八年四月に同志社大学法学部に憲法の助教授として赴任され、その後は、同教授、同大学院博士前期・後期課程教授、評議員、法学部長、大学院委員、人文科学研究所長など数多くの要職を歴任され、大学および法学部の発展に大きな貢献をされました。

御専門の憲法の研究では、国会図書館でのご勤務やフランス留学の御経験も存分に生かされ、特に、議員内閣制、国政調査権、議員定数の不均衡など、国会・内閣に関する諸問題について多くの優れた著書・論文を著わされ、早くから今日の問題状況を見通されていました。教育面でも、先生の憲法の御講義は論理明晰・丁寧な解説・声量豊富として学生間でも有名であり、また、先生のゼミナールは毎年数十名の学生が希望する法学部の大人気ゼミであり続けました。

ここに、限りない感謝を込めて先生に本論文集をささげ、執筆者、同志社大学法学会会員一同とともに、先生のますますの御健勝と御活躍をお祈り致します。

二〇〇〇年七月

田 井 義 信  
法 学 部 長